

2025年度後援会 第2回幹事会開催報告

10月25日(土)、2025年度第2回幹事会が開催されました。昨年はオンライン方式での開催でしたが、今回は2年ぶりに湘南キャンパスでの対面方式での開催となりました。

会の冒頭では、経営学部学生指導主任の中島教授ならびに情報マネジメント学部学生指導主任の中川教授より、各キャンパスにおける学生生活や課外活動等の様子についてご報告をいただきました。続いて、後援会事務局より、更に具体的に学生の活動や後援会が支援をしている活動および9月までの予算実績状況等について説明がなされました。そして、議事の最後には卒業生に贈呈される卒業記念品について、4年次幹事による検討結果が報告されました。

議事終了後には、オープンキャンパススタッフの学生によるキャンパスツアーが行われました。当日は、あいにくの雨天のため、第1グラウンドやビーチバレーコート等の屋外の施設を間近で見学することはできなかったものの、1号館8階からのキャンパス周辺の眺望を望むことができ、キャンパスを取り巻く環境も変化しつつあることを実感するよい機会になりました。

《議事および報告、他》

1. 両学部 学生指導主任による「学生生活」について
2. 学生活動および後援会支援活動報告(4～9月)
3. 2025年度予算実績状況(9月末現在)
4. 2025年度の広報活動について
5. 事務局からの報告事項および今後の予定について



学生新聞の制作と発行(自由が丘・湘南)

毎年、保護者の皆さまから好評を得ている学生新聞が今年も制作されました。

自由が丘キャンパス(経営学部)では、授業科目「エディター養成プログラム」の履修生など、印刷物のデザインや編集に興味のある学生が集まる同好会「広告研究会」の2年生3名、1年生5名の有志が制作を担当し、同好会顧問の加藤教授の監修のもと作成しました。「産業能率大学の入学から現在、ホンネ徹底調査」をテーマに、バッグの中身や空きコマ、放課後の過ごし方などのインタビュー結果を紙面デザインしました。

湘南キャンパス(情報マネジメント学部)では、今年度も学生団体である学生会執行部の学生たちによって取材・編集が進められました。特に今年度は、スタート段階で当初想定していた企画の見直しが発生したこともあり出遅れましたが、その後の懸命な巻き返しにより、今回も湘南キャンパスならではの情報と学生たちの想いが詰まった誌面を保護者の方々にお届けすることができました。新聞制作のプロセスを通じて、各学年のチームメンバーが試行錯誤しながらもそれぞれの役割を全うし、チームとしての成果に貢献するという経験ができました。

作成したそれぞれの学生新聞は、本誌と共に同封のうえ、保護者の皆様にお届けいたします。学生視点で編集された各キャンパスの新聞を是非ご覧ください。



自由が丘学生新聞制作の様子



自由が丘学生新聞制作メンバー



湘南学生新聞制作の様子



湘南学生新聞制作メンバー